

## 体罰等不適切な指導に関するアンケート結果について(12/13~1/8 現在)

### 【集計結果全体】

①あなたは選手ですか、保護者ですか 618 件の回答

選手 236

保護者 382

②あなたの性別を教えてください 614 件の回答

男 251

女 363

③所属しているカテゴリーはどこですか 615 件の回答

ミニ 229

中学(U15 クラブを含む) 97

高校(U18 クラブを含む) 192

大学 26

専門学校 1

社会人 70

④チームの所属している地区を教えてください 612 件の回答

川崎 80

横浜 236

横須賀 76

湘南 67

平塚 27

小田原 18

北相 108

⑤今年4月から今までに活動中、体罰はありましたか 609 件の回答

あった 116

なかった 493

⑥どのような体罰がありましたか(複数選択可) 123 件の回答

なぐる 26

ける 32

たたく(ビンタ) 35

なげる 16

髪(かみ)の毛をつかむ 21

耳をつかむ 19

物やボールをなげる 66

その他 66

⑦体罰は何回くらいありましたか。123 件の回答

1回 12

2～4回 45

5～10回 14

10回以上 52

⑧体罰を止めるように言えましたか。139 件の回答

言えた 22

言えなかった 117

⑨今年4月から今までに活動中、暴言を吐(は)かれましたか。517 件の回答

吐(は)かれた 236

吐(は)かれていない 281

⑩どのような暴言がありましたか(複数選択可)244 件の回答

ばか 140  
死ね 30  
消えろ 45  
その他 206

⑪暴言は何回くらいありましたか。243 件の回答

1回 8  
2~4回 31  
5~10回 37  
10回以上 167

⑫今年4月から今までにパワーハラスメント(監督、コーチなど上下関係を利用してのいじめ、無視など)はありましたか。569 件の回答

あった 175  
なかった 394

⑬今年4月から今までに今までにモラルハラスメント(同級生や選手間でのいじめ、無視など)はありましたか。573 件の回答

あった 121  
なかった 452

⑭そのほかに伝えたいことがあれば記述してください。177 件の回答

#### 【カテゴリー別】

○ミニ総数 229

選手	11	保護者	218
体罰があった	4	体罰があった	45
暴言を吐かれた	5	暴言を吐かれた	95
暴言が10回以上	5	暴言が10回以上	74

○中学総数 97

選手	23	保護者	74
体罰があった	5	体罰があった	15
暴言を吐かれた	12	暴言を吐かれた	34
暴言が10回以上	7	暴言が10回以上	20

○高校総数 192

選手	111	保護者	81
体罰があった	26	体罰があった	19
暴言を吐かれた	49	暴言を吐かれた	34
暴言が10回以上	48	暴言が10回以上	22

○社会人・学生 総数 97

社会人選手	70	学生選手	27
体罰があった	0	体罰があった	1
暴言を吐かれた	3	暴言を吐かれた	5
暴言が10回以上	1	暴言が10回以上	1

**【伝えたいこと抜粋】**

○ミニ

(選手)

- ・他のコーチがいても誰も助けてくれない。
- ・暴言がひどすぎる。他にも精神的苦痛を感じてミニバスに来れない人もいる。

(保護者)

- ・監督から子供達に対しての指導と言う名目の暴言が多すぎます。時代錯誤もいいところ。
- ・子ども健全な発達に寄り添わない指導者が多いことが残念で仕方ありません。
- ・「監督」という立場を利用して、子供という弱者を気分でいじめています。
- ・お屋中に外食に行き飲酒。その後、必要以上に普段より増して子供たちに絡んで怒ったり、女子へ抱きつくなどのセクハラ。
- ・怒鳴って罵倒しまくれれば子どもは言うことを聞く！という指導は大間違い。
- ・コーチからは一個人として見て貰えず誰かと比較され、「下手くそ、センスないな、辞めちまえ、お前はボールを触るな、人数が居ないから仕方なく出してるだけだ」など、他にも暴言は日常的に言われます。
- ・指導者の中に保護者を召使いのように扱う人がいる。モラルの面もきちんとして言ってほしい。
- ・なんだその反抗的な顔は！鏡で自分の顔見てこい！最低の顔だ！などと言います。
- ・上の人たちも見て見ぬ振りをしている。口頭注意だけで、それ以上の事はしてくれません。
- ・指導には感謝しています。ただ、言葉の暴力やずっと立たせたままなど、いわゆる昔ながらの指導には疑問を感じます。
- ・大会前に怪我をして罵倒された。
- ・ミニバスは楽しめる所ではなかった。萎縮している。けなして追い込んで、それで出来る子とそうでない子がいるのに、そうでない子は何年やってんだよ。そんなのもわかんねーのかよ。話し聞いてないからだ。帰る。と言ってかえってしまった事も多々あり。子供より子供過ぎて呆れる。

・ただアンケートをとるだけではなく、本当に改善される方向にしていきたいと切に願います。

・具体的な指導をせずに自分の思い通りにならないと人格を否定するような発言（お前は末期癌だからどうしようもない、へたくそで弱虫だから駄目だ等）を行っております。選手が常に指導者の顔色を窺っており伸び伸び楽しくプレーできず委縮してます。

・指導者が選手に対する罵詈雑言が酷くて聞くに耐えられない状況です。ミスをした選手に対しては練習をさせず、練習中ずっと体育館の入り口に立たされたりしております。試合中も常に選手の批判と暴言ばかりです。

・次何かあったら、警察にすぐに通報したいと思っています。

・今後はチーム間移籍を認めて、父母会・指導者も選ばれるようなチーム作りを目指してレベルアップしてほしいです。

・チーム間移籍を認めて欲しい。指導者の良し悪しで辞めたくても辞めれないのは困る。

・パワーハラスメントがひどいと思います。無視をしたり、試合結果がきにいらなくて、4時間走らせたこともあります。

・日常的に暴力暴言がありました。その監督をいまだにかばっている保護者がいます。ありえない事だと思います。

・移籍ができないから我慢している。移籍ができないのが暴力、パワハラ等が無くならない一番の理由。もっと連盟は考えて欲しい。

・練習、試合に限らず常に暴言、指導の一貫性の無さに子供が振り回されており、子供がバスケ嫌いになりそうで不安です。

・試合中、対戦相手のチームコーチなどの暴言の方が非常に気になります。

・権力がある方の横柄な態度も度を超えると如何なものかと思えます。

・馬鹿野郎や帰れ、辞めちまえ！などは当たり前と言われてます。クラブチームでも無いのに、お前はクビだ！と言ってる時もあります。今の子供は、怒鳴りつけて凹ませても奮起する昭和の子供達とは違いますので、もっと励ましながら気持ちを盛り上げて戦いに挑ませていく方が良いかと思えますが、年齢的なものがありどうしても怒鳴ってしまう様です。試合中に呼びつける行為は、相手チームにも失礼だし、選手本人の気持ちが折れることにしか繋がらないと思います。指導者も人間ですからその時その時の感情があるのは理解しています。ですが、指導者という立場的なことを考えて、相手は小学生なのだから言い方に気をつけて欲しいと常々思っております。楽しい事だけでは試合に勝っていけないのも分かりますが、初心に戻って言葉使いを改善していただけたら良いなと思います。まずは怒鳴るのを止めてもらいたいです。

・子供たちが楽しく真剣にバスケットボールに向き合っていけることを願っております。

・コーチのパワハラは酷いです。お願いです、助けてください。

・バスケ大好きな子供がやりたくないと言うようになってきてます。口を開けば暴言しかありません。

・小学生に対して指導が厳しすぎる。中学はバスケをやりたくないとのこと。

・指導方法が古すぎる。時代に合った指導はどうなのか。練習をみていて、コーチからの言葉が親にとって心に突き刺さり辛いことが多々あります。

・試合中、選手達が萎縮するような暴言は頻繁に見られる。

・プレーに対する指示はありがたいが、個人を否定するような言い方は気を付けて欲しい。

・コーチが感情的になりやすく暴言が酷い。子どもが指示通りに動けないと、「バカなの？おまえら脳み空っぽなんじゃない？」、時々死ぬとも言われる事もあると子どもが話していた。

・指導者は身内だけでなく、部外者にも常に見られている意識を持ち、指導者としてふさわしい振る舞いをしてもらいたい。

・ある日の練習に参加したところ、選手一人ずつ、指導者に自分の駄目な所と課題を伝えに行くという事が課されていた。指導者は子どもが話をしに行っても足を組みスマホをいじりながら目を合わせず威圧的な態度で座っており、勇気を出して子どもが話し始めても「はあ？」「何が？」などという声がかけて応じていた。泣いている子も沢山いた。

・小学生の子に対して、否定的な言動、失敗した事を攻め続ける、お前は出来ない、お前のせいで負けた、お前の代わりはいくらでもいる、もういらぬ、バカなど。試合で失敗すると試合に出さない、理由も言わない、話しかけもしない、しまいには子供は萎縮して自信をなくし、体調を崩し、頭痛や腹痛、夜寝てる時夢を見て泣いて起きる。などありました。

・コーチに関しては 見本となって挨拶をするべきなのに 誰とも目も合わすことも話す事もしません さらに 壁に寄りかかりポケットに手を突っ込んで教えています。子供達のバスケットとプレイヤーとしての将来は小学生の頃の基礎から成り立つと思います。

・益子直美さんが監督とコーチは選手を怒らないというルールの子どものバレーボール大会を開催していると聞きました。素晴らしい取り組みです。ミニバスでも出来ないでしょうか。子供がミニバスを始めた当初、他チームも含め、指導者の怒鳴り声に耳を疑いました。今の時代にそぐわない、悪しき慣習です。

・ミニの指導者の質が気になります。クラブチームとの練習試合や有料のクリニック等に行くと、指導者の言動が全く違うことがよくわかり、複雑な気持ちになります。

・本当にミニバスの監督から子供達への暴言は酷いです。見ていて吐き気がします。ボランティアなので保護者もなかなか意見出来ないようで。監査する部署を作って欲しいです。私はプレイヤーでもあり保護者でもあり、指導もしております。現状が残念過ぎてどうにかしたいです。

・兄弟は別のスポーツやってましたがミニバスの指導者のモラルのなさに驚きました。ミニバスに魅力を全く感じません。

・ミニのコーチはどのチームも威圧的で感情的でひどい。子供たちはまだまだ精神的にも未熟なのに人格を潰す気なのかと思う。

・「友情、微笑み、フェアプレー」とはなんなのか？子供達が、バスケットが嫌いになってしまうのでは？

・父親コーチの自身の子供への指導中の暴力があります。蹴る、つき押し、暴言。他の選手にはありませんが、その現場を目の当たりにし萎縮していました。『俺は怖いんだからみんな言うこと聞けよ。』というような無言の圧力を感じました。又、自分の子供に怒って何が悪いという様子でした。

## ○中学

(選手)

・親から何か言うと、暴言のターゲットが自分になるので、親には先生には言わないで言っている。

・お前が出てくるから、負けたと言われた。先生に伝えたが、本人からの謝罪は全くなかった。

(保護者)

・中学の顧問の体罰(言葉中心)で娘はバスケットを続けることができなくなりました。何も変わらない団体にはうんざりです。

・最近の北相は体罰が減った分、親として聞いて心が痛む暴言はたくさんあります この機会に協会の方には体罰暴言を止めるよう指導していただきたいです。

・熱血が行き過ぎ、センターの指導でみぞおちにパンチして、もう立てないのか、必要ない帰れ、親には言うなと口止めをされた。うちの子供には「お前は最後の大会を怪我で出なかったのは根性がないからだ。出ようと思えば出たはずだ。お前なんかもともとチームのメンバーではない。」など1時間に亘り説教をされ、泣き続けて反論すらできず、学業に集中できず支障をきたしています。

・今年の夏にあまりにひどかったので校長先生や教育委員会に相談をしましたが改善はされることなく、3年生の最後の試合においてはほとんど無視をされていました。このままなかったことにされ、自分たちの行動を省みることなく、後輩たちが同じようにひどい仕打ちを受けているのを黙ってみていることしかできないのが無念でなりません。

・気に入らない子どもを無視をしたり、『おまえには部活をやる資格がない』『おまえのせいで負けた』など、心無い言葉を浴びせてきました。指導者である前に、教育者にもかかわらず、そのような言葉を使い、子ども達を萎縮させています。いけないことをしたのであればしっかり叱って頂いても構わないけれど、人格否定までされる覚えはないです。

・練習試合先で他チームの顧問がチームの生徒に詰め寄り強い口調で女生徒に指導していた。その内容は人間否定するような暴言も多数含まれていた。

・複数の先生に、娘含め複数の生徒が、辞めちまえ、いらぬなどと大声で試合中に怒鳴られています。

・クラブチームの指導者は子供の成長を助けて頂けると実感しました。

・大会等でも暴言を吐いている指導者が本当に多いので、何とか改善出来ないものでしょうか…

・子供の話を全く聞いてもらえず、疑問を質問すれば反抗と捉えられ指導もされず、練習試合すらまともに出してもらえない状況で精神的に病んでしまう所まで行ってしまう状況でした。知識がない学校教員が顧問をする事に疑問を感じざるを得ない一年でした。

・忙しいのはわかりますが子供達が何かを聞くと忙しいと怒ったりするのは違うと思うです。

・バスケットに力を入れてる中学校の為 監督が越境を勧める。現に越境の生徒は部活の 1/3 在籍。中学校の部活動なのに下手な子供には入部を渋る。

・指導者の感情や指導の伴わない暴言などの元で部活を続けていかななくてはいけない子供がいること。指導者としての人格、指導力の向上を希望します。

## ○高校

(選手)

・胸ぐらをつかまれ、恫喝された、下手くそ、帰れ、辞めろ等、毎日言われ、ぶかつへ行くのが苦痛。

・試合中とかタイムアウトおよびピリオド終わりに調子が悪いと暴言をはかれる。バカなど。

・私のようにいじめで精神疾患になり、高校バスケットを諦めた人間がいることをわかってほしいです。

・休みが少なく遠征が多いため交通費がかかりすぎて困ってます。

・とても尊敬できる先生で感謝してます。

・部活を辞めたいのに辞めさせてもらえない。

・自分がされたんじゃないから女バスの先生が自分が嫌いな子を必要以上に精神的に干していた。見る方がいやな気持ちになった。

・先生部活に来ないから自分が頑張ってる姿見してもらえない上に試合も出させて貰えません。

・オープンキャンパスで練習を休むと伝えたらどうせ受からないから行く意味ないと言われた。僕自身教師の暴言などのストレスの影響で部活を辞めました。

・嫌だったが、坊主にさせられた。

・外部コーチの一昔前の固定概念に捕われた暴言がとまらず苦悩しています。

(保護者)

・パワハラ等があった場合、どこにどうやって伝えればいいのか分からないまま時間が過ぎてしまったことが何度もありました。具体的にどうすればいいのかをホームページのわかりやすい所に載せてほしいです。顧問がもし県内の有力者だった場合揉み消されたりするのではないかとこの噂もあとをたぢません。協会側が子供の味方だと言うスタンスを全面に出してください。

・遠征の際、昼食時に別行動を取り、飲酒してそのあと指導している顧問がいます。そのため暴言を吐き、胸ぐらをつかみ、突き飛ばしていました。

・胸ぐらをつかんで突き放す、胸ぐらを突き飛ばすのは体罰ですか？もはや体罰の定義がわかりません。

・このアンケートを取って、結果をどのように顧問の方々に伝えるのですか？暴言、体罰もどき、飲酒をしている顧問に、その結果はあまり意味が無いのではないかと思います。もっと具体的に、直接どこに相談すればいいのかを生徒、保護者側に示してください。このままでは子ども達が壊れてしまいます。

・あからさまな体罰ではなく、計算してギリギリの事をしてくる顧問がいるということもあるのです。本当にあることです。対策をよろしくお願い致します。

・試合に出さないと脅迫したり指導者の好き嫌いで選抜に出したり出さなかったり指導者の権力を使つての対応が多すぎる。非常に残念です。

・全然練習に出てこないくせにやってるアピールが酷く、人の意見を全く聞かない。

・何故か、バスケットボールに関係する人は、指導者も選手も保護者も教員も観客も、興奮しやすく、言葉が荒れる傾向にある。熱くなっていることを否定しないが、それを周囲が見ていて、誤解をされることがとても目立つ。

・厳しい指導(能力の向上)と生活面の指導(礼儀、敬う誠心、道具を大切に作る心など)親以上に親身に怒るタイミング・誉めるタイミングを見極めて下さって、感謝している。

・負けた試合後に俺の時間を返せ、明日から指導しない、お前たちの顔見なくてせいせいする等暴言、胸ぐらをつかんでの恫喝等、日常茶飯事そこに信頼関係は築けないと思います。

・バスケ部顧問から毎日暴言を吐かれ耐えられなくなり11月より、部活に出ていない。

・スポーツする前に、人であってほしい。

・ミニバスや高校の試合を見に行くと、暴言を吐く指導者をよく見かけます。協会の役員もその場で聞いているのに変わりません。指導者を指導できるような体制を構築した方が良いと思います。被害者は弱いので報復を恐れて我慢するしかありません。

## 【まとめ】

今回のアンケートにより、バスケットボールを楽しく伸び伸びとプレーできていない現状が数多く確認されました。

指導者の方々には、再度ご自身の指導を見直していただき、子供たちのためにより良い指導をしてください。

選手・保護者の皆様には泣き寝入りすることなく、困ったことがあれば相談してください。相談窓口は最後に記載します。



## 【指導者の暴言・暴力・過度な負担に関わる緊急提言】JBA より

普及育成部部长 田村敏実

U12 委員長 藤澤周一

過日行われました全国部会長会議で全ての報告・協議に先立ちまして行われたのが、JBA 裁定委員会委員 合田雄治郎氏(弁護士)によります「暴言・暴力等の防止に向けた取り組みについて」と題しました講義です。

これにつきまして、山本副部会長より、「暴言・暴力等について、バスケットボール競技は、日本スポーツ協会に寄せられるクレーム件数が、他の競技に比べて非常に多い。危機感をもって改善に取り組むべきだと考えている」と説明がなされました。「本件は、緊急かつ最重要課題であることから、本日は JBA 裁定委員会委員であり、日本スポーツ協会の相談窓口も務められている合田先生をお招きし、暴言・暴力等の防止に向けた取り組みについてお話しいたしますので、皆さんも理解を深めていただきたい」と伝えられました。

そして、JBA 裁定委員会委員である合田雄治郎氏より、「スポーツ指導における暴力等不適切行為について」の実態および起きた際の対応について、事例を用いながら説明がなされました。

主な内容は以下の通りです。

- ・現状として、日本スポーツ協会に寄せられる苦情件数はバスケットボールが最も多く、中でもミニバスに関する件数が大半を占めている。

- ・暴力が許されないのは違法だからである。

- ・同意があれば許されるとなれば、子供は同意せざるを得なくなる。本人や保護者の同意があった場合でも、暴力は許されない行為である。

- ・指導者の不適切な行為に対する損害賠償額は 3 億円以上になることがある。

- ・体罰は懲戒権をもっているもの(=教員)の行為であり、教員以外に体罰はない。すなわち、体罰ではなく暴行である。(もちろん、体罰も違法である。)

- ・厳しい指導=厳しい練習ではない。指導者が達成すべきは、スポーツの楽しみを教え、自立したアスリートを育てることである。

- ・ハラスメントは行為者の意思ではなく、受けた相手が嫌だと感じれば成立する。指導者と競技者には上下関係があるので不適切な行為はパワハラにあたりと考えられる。

- ・いじめは絶対に静観しない。いじめられている子供から話を聞くことが先決である。

- ・もしも起こってしまったら、JBA 規程に則り、JBA 指導の下、都道府県協会が調査、裁定委員会案件となる。警察への被害届が出された場合は、警察の調査(捜査)となる。警察が調査しない部分に関しては、都道府県協会が請け負う。いずれも、調査内容を裁定委員会が審議、処分を下す。

- ・違法行為となれば、訴訟において訴えが認められることはない。

最後に、吉田部会長より、現在、JBA としても制度的にまとめているところであり、12 月に行われる JBA の理事会承認後に都道府県協会に展開し、来年度から実施していきたいと説明がなされました。

また、現状で何か事象があった場合は、都道府県協会へ報告を挙げていただくとともに、何かお困りの際は、遠慮なく JBA に相談してほしい旨の補足説明がなされました。

以上の内容から、日本のスポーツの中で最悪の環境にあるのが、このミニバスケットボールを取り巻くものであるということ肝に銘じ、これまで当たり前のように行ってきた(行われてきた)指導をもう一度振り返り、指導者の暴言・暴力を、協会、指導者、保護者(観客も含む)一体となり、子供たちに関わる全ての大人たちの協力のもと、断固たる決意で根絶することを目指すものであります。

プレイヤーズファーストが謳われております。大人たちの満足や名誉のために子供たちにミニバスケット

トボールをさせることのないようお願いいたします。また、「子供たちが勝ちたいというから」という大義名分を振りかざし、過度な負荷を子供たちにかかることのないようお願いいたします。(これには、指導者が保護者へ過度な負担を強いることも含まれます。)子供たちの環境は、子供たちの健やかな成長を願い、周囲の大人たちで整えます。

## 【相談窓口】

### 一般社団法人 神奈川県バスケットボール協会

電話番号 045-534-6135

受付時間 平日 10 時 00 分から 18 時 15 分まで

メール office@kanagawabk.or.jp

ファックス 045-534-6137

書面 〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野 1-5-3 サンワビル2F

一般社団法人 神奈川県バスケットボール協会 事務局 宛

※メール・ファックス・書面はいつでも受け付けます

### 公益財団法人 神奈川県体育協会内 ☆相談窓口ホットライン

I. 電話番号 045-314-0010

受付時間：平日の火曜日及び金曜日の9時～16時30分(週2日)

II. 相談内容の範囲

- (1)身体的・精神的暴力行為等に関する事
- (2)身体的・精神的セクシュアルハラスメント及びパワーハラスメントに関する事
- (3)ドーピング防止及び薬物乱用に関する事
- (4)不適切な経理処理及び不正行為に関する事
- (5)その他、法令違反に関する事

III. 利用対象者

- (1)神奈川県体育協会加盟団体の登録者及びその関係者等
- (2)神奈川県スポーツ少年団の登録者及びその関係者等
- (3)神奈川県総合型スポーツクラブネットワークに加盟している総合型 地域スポーツクラブ関係者等
- (4)神奈川県体育協会及び加盟団体役職員

IV. 電話以外の相談方法と受付時間

- (1)電子メール いつでも受け付けます soum.kikaku.kanagawaken@japan-sports.or.jp
- (2)ファックス いつでも受け付けます 電話番号：045-311-0637
- (3)書面 いつでも受け付けます
- (4)面会 電話相談日(火曜日・金曜日)に事前予約し、面会日は火曜日～金曜日の9時～16時30分の間

### 県教育委員会教育局 体罰相談窓口

電話番号 045-210-8315

受付時間 平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで

※土・日・祝日・年末年始は、受け付けておりません。

### 県立総合教育センター 24 時間子ども SOS ダイヤル

電話番号 0120-0-78310 0466-81-8111

受付時間 24 時間・365 日

※いじめ以外に体罰の相談にも応じます。